

# 北斎かわらばん

すみだ北斎美術館ニュース

第8号

平成22年(2010年)3月発行



## 『すみだ』と『北斎』

— 北斎の描いた

『すみだ』④—

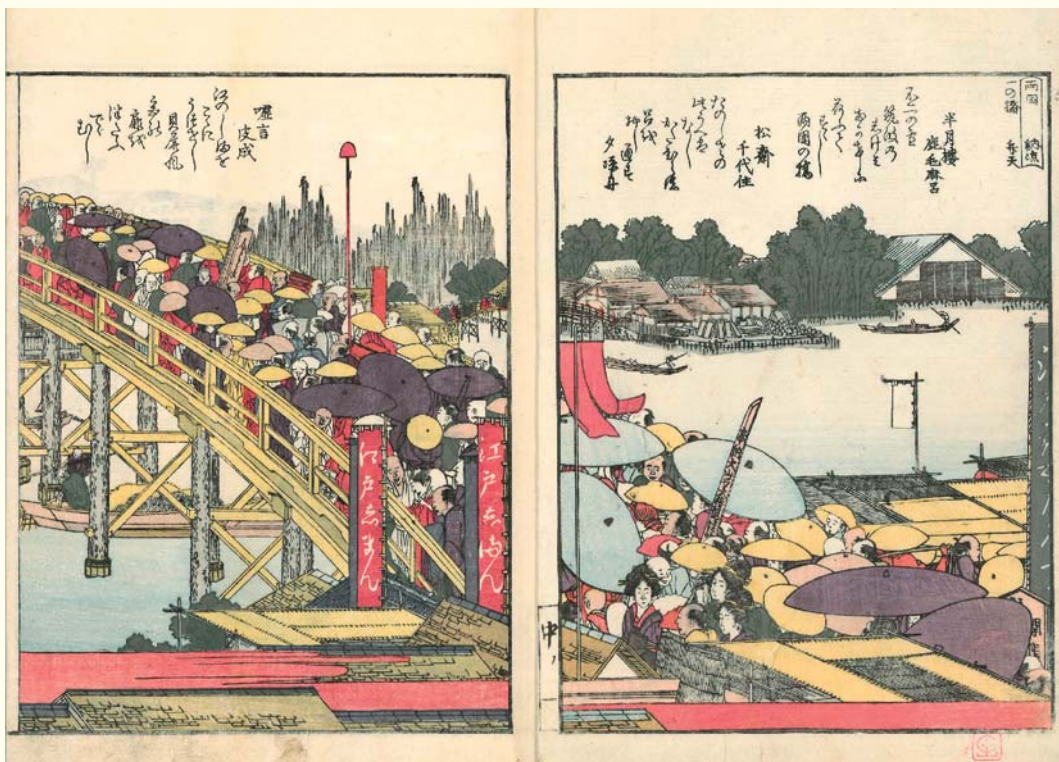
北斎が隅田川を描いた作品の中に、狂歌絵本『絵本隅田川兩岸一覽』という版本があります。西側から見た隅田川の兩岸の風景を、正月の高輪から描き始めて、上流へと上っていき、年末の吉原までを描いています。各図が絵巻物のようにつながっているのが特徴です。この中から、両国橋の風景の一図を紹介します。

橋のたもととの両国広小路(現中央区東日本橋)は、盛り場として有名で、芝居や手品などの見世物や、床屋、飲食店などが小屋掛けしてにぎわっていました。「両国橋には槍三筋絶ゆることなし」と武士の往来の多さを示す表現がありますが、赤い覆いを被せた槍を持ち、袴を着た武士の一行や、

笠を被った旅人などがひしめき合っています。橋のたもとで「奉納大山石大権現」と書かれた木刀を持つている人は、橋の東詰にあった垢離場こりばで体を清めてから大

山(現神奈川県伊勢原市大山、おおよまあふりじんじや、大山阿夫利神社)参詣に向かう人です。

対岸が墨田区で、奥に見える橋が一ツ目の橋とも呼ばれた現在の一之橋です。



狂歌絵本『絵本隅田川兩岸一覽』より「両国納涼・一の橋弁天」

橋の右手の林の中に、鍼術しんじゆつで五代將軍綱吉に仕えた杉山けんきやう検校が江の島弁才天を勧請した一の橋弁才天(現江島杉山神社、墨田区千歳)があります。橋の奥にはたてかわ流川が流れ、川沿いには材木問屋が集中しており、鳥のとまった材木がシルエツトで描かれています。木材の板を背負って両国橋を渡って来る男は、壱川から来たと考えられます。両国橋の手前や橋上には、所狭しと往来する老若男女の風俗が細やかに描かれ、一方の対岸には、静かな景色が描写されています。北斎は、兩岸を対比させることで、両国橋のにぎわいを表現しています。

【発行】  
墨田区民活動推進部  
文化振興課  
北斎美術館開設担当  
(墨田区役所1階)  
☎ 03-5608-6115  
【編集協力】  
(財)墨田区文化振興財団  
北斎担当



# すみだ北斎美術館のシンボルロゴ&マークデザイン案決定！

このほど区では、すみだ北斎美術館公式シンボルロゴ&マークのデザイン案を決定しました。

デザイン案の決定にあたっては、平成二十一年七月～十月に公募を行い、国内外から応募があった一六三四点全てについて、

「すみだ北斎美術館公式シンボルロゴ&マーク審査会」(審査委員長 勝井三雄(日本グラフィックデザイナー協会会長))で審査を行いました。

制作者それぞれにとっての北斎をイメージ化したデザイン案は、どれも個性的で魅力的なもののばかりでしたが、厳正な審査の結果、最優秀賞一点、優秀賞二点、奨励賞(中学生・高校生対象)四点を選出しました。今後、最優秀賞作品に補正を行い、公式シンボルロゴ&マークを創り上げていきます。

詳細は、区公式ウェブサイト(<http://www.city.sumida.lg.jp>)をご覧ください。

## ◆ 最優秀賞



すみだ北斎美術館

岐阜県 高瀬 清二さん

## ◆ 優秀賞



すみだ北斎美術館

杉並区 森山 沙英子さん



すみだ北斎美術館

長野県 瀧内 望さん

## ◆ 奨励賞(中学生・高校生対象)

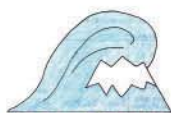


すみだ北斎美術館

井上 凱さん  
(区立文花中)



奥田 光さん  
(区立吾嬬第一中)



すみだ北斎美術館

小野 明香音さん  
(区立文花中)



北斎美術館

米山 絵三茄さん  
(区立文花中)



## 埋蔵文化財発掘調査の 現地説明会を行いました

二月二十日、すみだ北斎美術館の建設地で埋蔵文化財発掘調査に関する説明会を行いました。

当日は天候にも恵まれ、約二三〇名の方々が発掘現場と出土遺物の見学に訪れました。

平成二十二年度には、出土遺物の整理等を行い、調査報告書を刊行する予定です。

## 出版物のご案内

(財)墨田区文化振興財団では、事業の一つとして北斎に関する書籍を出版しています。その中でも『北斎研究』は、北斎とその門人に関する、世界で唯一の総合的な専門研究誌で、最新の研究成果の報告と北斎資料を紹介しています。年二回の発行で、現在、第四十五号まで刊行されています。

第四十三号では、これまで画名以外伝わることのなかった北斎の門人「北鷹」に関する情報を掲載し、その内容は、新発見として日本経済新聞(平成二十一年四月二十一日付)で紹介されました。



【右の書籍に関する問い合わせ】

(財)墨田区文化振興財団北斎担当

☎03・3829・4122